

## 第1回 葛飾区環境審議会 議事録要旨

【日時】 令和5年3月23日（木） 午後5時30分～午後7時20分

【会場】 男女平等推進センター 3階洋室A

【出席委員】 崎田委員、藤野委員、矢後委員、赤澤委員、池上委員、大川原委員、大友委員、河東委員、下井委員、関根委員、田中委員、鳥山委員、藤平委員、武者委員、谷茂岡委員

【欠席委員】 竹内委員、胡委員、沢崎委員、島田委員、菅原委員

【事務局】 宮地環境部長、木下環境課長、大澤リサイクル清掃課長、岡部清掃事務所長、秋元施設整備担当課長、吉永、佐藤、村上

### 【次第】

- 1 開会
- 2 副区長挨拶
- 3 会長の選任
- 4 副会長の指名
- 5 委員自己紹介
- 6 議事
  - (1) 葛飾区環境審議会について
  - (2) 葛飾区の環境施策と進捗状況の評価について
- 7 閉会

### 【資料】

- 資料 1-1 葛飾区環境審議会の概要
- 資料 1-2 第3次葛飾区環境基本計画の進行管理について
- 資料 2 令和3年度進捗状況の報告について
- 資料 3 令和5年度の主な取組について

### 【参考資料等】

- 葛飾区環境審議会委員名簿
- 葛飾区環境基本条例（全文）
- 葛飾区環境審議会規則（全文）
- 第3次葛飾区環境基本計画 計画書
- 第3次葛飾区環境基本計画 概要版

発言者	審議内容
事務局 (環境課長)	<p><u>1 開会</u></p> <p>本日はお忙しい中、第1回葛飾区環境審議会にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>私は環境課長の木下でございます。会長が決定されるまでの間、進行役を務めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、始めに副区長の小林よりご挨拶を申し上げます。</p> <p><u>2 小林副区長挨拶</u></p> <p><u>3 会長の選任</u></p>
事務局 (環境課長)	<p>委員の皆様方への委嘱につきましては、お手元の委嘱状をもちまして就任のお願いに代えさせていただきたいと存じます。何卒よろしくお願い申し上げます。</p> <p>次に会長の選出をいたします。葛飾区環境審議会規則第3条では、会長は学識経験者の中から委員の互選によって定めるとしております。どなたか推薦していただける方はございませんでしょうか。</p>
委員	<p>環境基本計画策定委員会の会長を務められた、ジャーナリスト、環境カウンセラーの崎田裕子委員を推薦いたします。</p>
事務局 (環境課長)	<p>ただいま崎田委員の推薦がございましたが、よろしいでしょうか。</p> <p>(拍手あり)</p> <p>それでは、会長に就任されました崎田会長よりご挨拶をお願いいたします。</p>
会長	<p>ご推薦をいただきありがとうございます。ただいまご紹介いただきましたが、昨年度まで環境基本計画策定委員会の会長をやらせていただきました。そこにご参加いただいた委員の皆さんだけでなく、今日は公募区民の皆さんや次世代の皆さんにもご参加いただいております。このような輪の中で、今まで皆さんと一緒に策定したものを実現させるというフェーズと一緒に取り組ませていただくことは大変重要なことだと思っております。</p> <p>私自身、暮らしや地域の視点で持続可能な地域づくりに取り組んできました。策定委員会の皆さんと一緒に意見交換する中で非常に印象深かったのは、区民、事業者、行政が連携しながら取り組んでいこうということを皆さんが大変強くおっしゃること、葛飾らしい取組をしっかりと進めていこうという意味が大変強いこと、もう1つは2050年を担う次世代の方と一緒にやっていかなければいけないという考えがはっきりしていたことが印象深かったのです。そのような</p>

	<p>こともしっかり受け止めながら、一緒に審議会を進めていければと思っております。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p><u>4 副会長の指名</u></p> <p>事務局長 (環境課長) 続きまして、副会長の選任になります。葛飾区環境審議会規則第3条では、副会長は会長が指名すると定められております。崎田会長よろしく願いいたします。</p> <p>会長 環境基本計画策定委員会で副会長を務めていただきました、公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）の藤野委員にお願いしたいと思っております。</p> <p>事務局長 (環境課長) ありがとうございます。副会長は藤野委員にお願いしたいと存じます。では、藤野副会長よりご挨拶をお願いいたします。</p> <p>副会長 皆さんこんばんは。環境基本計画策定委員会の時も崎田会長のもとで大変重要な計画がまとまったと思います。都市部は比較的やりづらいこともたくさんありますが、そのような条件の中でも葛飾区は23区の中で率先して取り組んでいると思います。例えば、本日、新しく改築された高砂けやき学園高砂小学校・高砂中学校を視察させていただきましたが、エネルギー効率が高く、子供たちがどんどん成長していけるような良い環境をつくられていると思いました。ぜひそのような取組を微力ながらご支援させていただければと思います。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p><u>5 委員自己紹介</u></p> <p>事務局長 (環境課長) ただいま会長、副会長からご挨拶をいただきましたが、第1回ということでですので委員の皆様にも自己紹介をお願いしたいと存じます。着席のままで結構ですので、簡単に自己紹介をお願いいたします。最初に矢後委員からお願いしたいと思っております。以降は座っている順でお願いいたします。</p> <p>(各委員の自己紹介)</p> <p>(事務局紹介)</p> <p>ここからは崎田会長に議事の進行をお願いしたいと存じます。</p> <p><u>6 議事</u></p> <p>会長 それでは、議事に入る前に資料の確認や連絡事項があると思っておりますので、事務局からまずお願いいたします。</p>
--	--

<p>事務局 (環境課長)</p>	<p>(配布資料の確認)</p> <p>次に議事に入る前に、審議会の会議録及び傍聴について確認をさせていただきます。本審議会では、会議録を作成いたしますので、委員の方々のご発言を録音させていただきますことをあらかじめご了承ください。</p> <p>また、葛飾区環境審議会規則第4条において、審議会は公開すると規定しておりますので、会議録を公開するとともに、審議会の傍聴を可能としております。なお、会議録への記載については、発言者の氏名は記載しない形での公開を考えております。よろしくお願いたします。</p>
<p>会長</p>	<p>ただいま議事録の公開についてお話がありましたが、議事録は概要版となりますか？</p>
<p>事務局</p>	<p>はい。議事録は逐語ではなく要点をまとめたものとなります。</p>
<p>会長</p>	<p>議事録は要点をまとめたものを事務局で作成して出していただき、委員のお名前は外してもらうという流れとなりますがよろしいでしょうか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>それでは議事に入りたいと思います。事務局より説明をお願いします。</p> <p><u>議事(1) 葛飾区環境審議会について</u></p>
<p>事務局 (環境課長)</p> <p>会長</p>	<p>(資料1-1、資料1-2に基づき環境審議会の役割等について説明)</p> <p>今説明いただいた部分でご質問やご意見がある方はいらっしゃいますか。</p> <p>ご質問がないようですので一言申し上げます。環境審議会では環境基本計画の進捗状況の確認や今後どう進めていくのかという議事があると思いますが、皆さんからご意見いただきながら、目標などの強化が必要ということが出てくれば、皆さんと相談しながら形にしていく。ですから決まった枠の中でやらなければいけないというよりは、ロードマップを軸にしながら皆さんが一番つくっていきたいまちを一緒につくっていくという気持ちでご意見をいただければありがたいなと思います。</p> <p>それでは事務局より議事(2)の説明をお願いします。</p>
<p>事務局 (環境課長他)</p> <p>会長</p>	<p>(資料2、資料3に基づき、葛飾区の環境施策と進捗状況の評価、令和5年度の主な取組について説明した)</p> <p>今回、令和3年度の状況と令和5年度の取組について、初めての機会でしたのできちんとご説明いただきありがとうございます。ただし、皆さんからしっかり</p>

委員	<p>ご意見を聞く時間がなくなってしまい、お約束のお時間になっていますが10分くらいいただいてもよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、この中で、この辺を強調してほしいですとか、ご意見があればしっかりと伺いして事務局にも取り組んでいただきたいと思いますので、何かありましたらご意見いただければと思います。</p> <p>温暖化はやるべきことがたくさんありますが、資源循環でも話が出たとおりまず我々が減らすというのが一番大事なと思います。最後にどうしても減らせない部分はオフセットするという流れ。ただ、ずっとこういう活動してきてわかるのは、総論は賛成、各論は反対ということが非常にあるかなと思います。どのような切り口で攻めていけばいいのか、学校や自治町会などいろんな切り口がありますが、どれも取組が実践されているという感覚がなかなかないのが実態であります。ですから、こうしてそれぞれ背景をお持ちの方がお集まりになっている中で、いろんなアイデア、とくに若い人たちのアイデア、そんなことはできないなんてことは絶対言わないようにして、どんどん取り入れていくようにしていただきたいと思います。</p>
会長	<p>全体的にはいいけど具体的にどの様に効果が出ているのかがなかなか見えないうことがありますので、しっかりと実践していく形をつくっていくのは大変大事だと思います。とくに次世代の方のご意見・ご提案などもしっかりと受け止めていくということですね。</p>
委員	<p>1点わからないことがあったのですが、建築物を新しく建てる際の助成を考えているということですが、これは新築をするにあたってどの時期に助成金があることの周知がされるのかなと、例えば設計事務所なのか施工業者なのか、どこから助成金の話があるのかを知りたいなと思いました。</p>
事務局 (環境課長)	<p>施工前に区にご相談いただかないといけないという手順になっています。いろいろところで宣伝していますけれども、区としてはハウスメーカーや設計事務所さんにこの話をなるべく早くして、そういったところに知ってもらうことが第一かなと考えておりますし、皆様から発信していただくのも1つの手段かなと思います。よろしくお願いします。</p>
委員	<p>私は専門が森林なので気になったのですが、令和5年度のカーボン・オフセット事業を進めて連携先の森を蘇らせるということですが、今後区の公共施設の建設の予定があると思いますが、そこで連携先の木を使ってはどうでしょうか。そしたら連携先の森が蘇るのではないかと思います。今、西亀有保育園が木造で建築していますが、外材で建てており、できたらそこで連携先の木を使ったらいいのではないかと思います。</p>

事務局 (施設整備担当 課長)	現在、連携先の五泉市・鹿角市の木材を使って、今工事の準備をしている道上小学校と水元小学校で、多量ではないですけれども一部使う予定です。今後も連携している自治体の木材を活用していきたいと考えています。
会長	カーボン・オフセットだけでなく木材をちゃんと使っていくとか人の交流とか複合的な関係ができていけば素晴らしいと思います。
委員	温暖化に関しては喫緊の課題だと思いますが、現状値と目標値を見ますとなかなか遠い道のりがあると感じました。ごみに関しては、燃やすごみは水分量が80%あるということで全部乾燥できるわけではないので、絞っていくとかちよっとしたことの積み重ね、静岡県のどこかの市では片手で絞って1億円、両手で絞って3億円、市の予算が減ると言っているところもあり、やっぱり我が事として少しずつやっていくということが必要なのかなと思いました。それから繊維t o 繊維については非常にいいなと思いました。今ごみというのはいろんな資源物が含まれていますので、そこに興味を持った方々で繊維t o 繊維など、リサイクルが今後具体的にになっていけばいいなと思いました。
委員	6ページのところの再生可能エネルギーへの利用転換の拡大ですが、太陽光発電システムに助成金を出している件数が書いてありますが、発電容量のデータがほしいということと、区の施設への太陽光設置について、にこわ新小岩の太陽光発電容量に対して蓄電池の容量が小さいがバランスがとれないのかなと感じました。
事務局 (環境課長)	太陽光発電システムへの助成は平成18年度から行っていますが、これまでの総計が令和5年1月31日現在で、13,342.49kwとなっています。戸建ての場合3～4kwくらいが平均というような状況で、最近は蓄電池とともにかなり申請が増えている状況です。
(施設整備担当 課長)	蓄電池容量の件ですが、にこわ新小岩は確かに太陽光発電、蓄電池の容量が少ないです。今後設計・建築するものについては、できる限りの太陽光パネルを設置して、蓄電池ももっと大きい容量のものを設置する予定です。今設計中の学校ですと、例えば水元小学校は50kw弱くらいを予定しており、蓄電池についてももっと大きい容量のものを設置する予定です。他の計画中の建物も同じです。今までは再エネの促進というよりも災害対応での初動期の電力供給のためにつけている、あとは啓発というところが大きかったのですが、今後は拡充していきたいと考えています。
委員	私たちはエネルギーがなければ何もできませんので、再生可能エネルギーの問題、ここを主眼にしながら、環境問題に取り組んでいきたい。また、ごみ減量は後始末だけではなくて出さないことが一番大事ですので、ごみになるものは買わないのと同時に、SDGsの精神で企業の方にも考えてもら

委員	<p>って、お互いに共にそれをやっていくということを目標にしながら、何を今年は取り組むかということを考えてもらいたい。</p> <p>実現性、現実性のある数値目標をちゃんと出しておくと、何が何件あるという話を長時間やる必要はない。やはり数値目標をどれだけのものをなくすのか、どれだけのものを達成するのか、それをどうやるのかという目標を行政はちゃんと提示し、その根拠は何かということと話して進めていくべきじゃないかと思います。</p>
委員	<p>ごみの収集カレンダーが非常に便利ですので、葛飾区は転出や転入が多いので各出張所などにくまなく配布してもらえるともっと効果的ではないかと思います。</p>
委員	<p>繊維 t o 繊維のところでは 200 t を資源として回収しているとありますが、回収の仕方について、私は集合住宅に住んでいますが、洋服はまるめて 1 つの袋に入れてゴミ捨て場に置いてありますが、こういうものをもう 1 つ何か回収の仕方を考えれば利用価値が出るのではないかと思います。</p>
委員	<p>審議会が区がやっている環境の施策を進捗管理するのはとてもいいことだと思います。今日数字をいろいろ拝見しまして、こういうことをやっていると着実に目標に近づくかなと思いました。1 点、例えばこの中に、チラシとかポスターを何部刷りましたとか、エコかつという冊子を小学校に配りましたという数が出ていますが、できれば効果、量ではなく質、それが授業に使われているとか、生徒がどれだけためになったとか、そういったところもできれば調査して、そのあたりの達成がわかるとより良いと思いました。</p>
委員	<p>葛飾区は 23 区内ではかなり生物多様性に注視してやっている区であって、民間の団体についても補助がされているというのはとてもいい取組だと思っています。ただもう少しフォローがほしいかなと思うところもありますので、その辺のところをさらにご支援いただければ嬉しいかなと思います。</p>
副会長	<p>区がたくさんのことをやられていることがわかったので、ぜひ委員の皆さんが他の方にも喋れる形でこういう活動をしているよとご紹介できるような資料も今後ご用意されたいのではないかと思います。</p>
会長	<p>区を取組についてきちんと説明いただきましたので、かなり明確にやり始めているということは共有できたかなと思います。そういう中で、色々なご発言を伺い、1 つ 1 つの取組が区民にどの様に伝わるのか配慮し、この計画をきちんと地域の中でみんなが活用し、進めていけるようになっていくのがとても大事ななと思いました。区民や事業者の方みんなでも共有し、全体で盛り上げられるようになっていければと思います。ぜひこの計画を区民や事業者の皆さんが実現して</p>

<p>事務局 (環境課長)</p>	<p>いく、あるいは暮らしの中、仕事の中で活かしていただいてゼロカーボンの実現につながっていく、そういうことがみんなで共有できるような形で、この3年の間で一步一步、歩みが進んでいけばいいなと思いました。</p> <p>次回、秋くらいには令和4年の報告書も出てくると思いますので、その時にはもう少しじっくりと時間をとって意見交換したいと思います。よろしくお願いします。では事務局から今後についてよろしくお願いします。</p> <p><u>7 閉会</u></p> <p>第2回の環境審議会につきましては、今年10月頃に開催したいと考えています。開催日についてはまだ決まっていませんが、決まり次第開催通知をお送りいたします。なお、本日の内容について質問がございましたら、3月31日くらいまでに事務局の方にご連絡いただければと存じます。</p>
<p>事務局 (環境部長)</p>	<p>環境問題は待ったなしの問題ではありますし、区民と行政と事業者さん、みんなと一緒にやっていかなければならない課題だと思っていますので、こういう場を含めて、皆さんのご意見をいただき、より良い環境政策を目指していきたいと思っておりますので、何卒よろしくお願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>23区の中でゼロカーボンシティの実現を一番最初に宣言したのが葛飾区ということで私も大変期待していますし、多くの方が関心を持ってこの区の皆さんの取組を見ている、応援しているという状況だと思います。できるだけ本音でトークしながら一步一步広げていければなと思います。</p> <p>今日は本当にありがとうございました。次回またよろしくお願いいたします。</p> <p><u>8 開催後のご意見</u></p>
<p>委員</p>	<p>資料2図3のPDCAサイクルイメージについて、PDCAという用語は「継続的改善」という概念とセットで用いられることが一般的と言えますが、今回示された図からは、PDCAの果てに“振り出しに戻る”という印象を受けました。</p> <p>進行管理が計画の向上を目指す、という見地から、図示の方法を「スパイラルアップ」をイメージするものに変更されるよう、ご検討ください。</p>
<p>事務局</p>	<p>PDCAの図については、ご意見を参考にしながら、より改善して前に進むイメージにできないか検討いたします。</p>
<p>委員</p>	<p>五泉市、鹿角市と連帯したカーボン・オフセット事業について、単純に現地の木を伐採し、都会で使って(CO2を都会に蓄積して)、植樹すればいい(CO2を樹木に吸収してもらえばいい)と思うのですが、整備がなぜCO2の吸収につながるのかと思いました。</p>

<p>事務局</p>	<p>どのような整備をして、どのくらいの期間で、どのくらいの量の CO2 を吸収するのか、その結果を楽しみにしています。</p> <p>森林整備をする際に、間伐がされると思いますが、その間伐材はどの様にする予定でしょうか？</p> <p>2050年ゼロカーボンシティの実現に向けて、区内の市民・事業者・行政の CO2 削減に向けた取組がまず重要ですが、削減しきれない CO2 を吸収する森林整備も大切な取組みです。今回のカーボン・オフセット事業は、葛飾区内に一定の規模で整備するだけの森林がないため、これまでも交流の深い、五泉市と鹿角市の森林整備に協力する形で行おうとするものです。両市の林業振興や森林の多面的機能の発揮に寄与し、これまでの交流にも森林の要素を取り入れ、交流の活性化につなげたいと考えております。</p> <p>また、木材活用や植樹も同時に行うべき取組みであるため、公共施設への木材活用や緑化推進を含め並行して行っていきたいと考えております。</p> <p>整備により拡大する CO2 吸収量については、区内の温室効果ガス排出量からすると、まだまだ十分とは言えない量であると推測しております。2050年の排出ゼロに向けて吸収量の一層の拡大を今から準備していくことが必要と考えております。</p> <p>なお、五泉市・鹿角市とも間伐材は搬出することとしており、バイオマス化などの活用、売却を行う旨聞いておりますが、森林整備活動の普及啓発の一つとして有効な活用ができないか検討していきたいと考えております。</p>
------------	---